

診療科専任薬剤師による外来化学療法支援の実態調査

研究の意義、目的：

国立がん研究センター東病院(以下、当院)では、一部の薬剤師が診療科専任として入院治療のみならず、外来での治療支援も行っています。実際には診察前日までに注射オーダーの確認を行い、医師の診察前に自作の問診表にて副作用の評価や薬の使用状況の確認や薬剤の使用法の説明を実施した上で、得られた内容について医師に情報提供や処方提案を実施しています。近年、外来化学療法の普及に伴い、治療中の症状マネジメントが問題となっており、外来化学療法における薬剤師介入効果に関する報告は多くありません。そこで、診療科専任薬剤師の外来化学療法支援の実態を調査します。

研究対象、方法：

当院で2015年6月1日～10月31日の間に、呼吸器内科において外来化学療法を施行された方を対象とします。患者基本情報(年齢、性別)、治療に用いた抗がん薬、薬剤師が面談した件数、医師への処方提案内容、提案薬剤による症状改善の有無、来院当日の注射薬オーダー件数について診療録をもとに後方視的調査を行います。

個人情報保護に関する配慮：

診療録の閲覧は個人情報を伴いますが情報収集項目に個人情報は一切含めません。各診療録から収集した情報はカルテ番号を使って管理します。個人情報が院外に出ることはありません。ご自分がこの研究の該当者かもしれないと思われた方でお問い合わせのある方は下記照会先までご連絡ください。ご希望があれば、その方の診療録から得られる情報は研究に使用しないように致します。

問い合わせ・苦情等の相談窓口：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部 馬見新 佳那子

TEL 04-7133-1111(内線 92319)/FAX 04-7134-6879

研究責任者：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部 川澄 賢司

TEL 04-7133-1111(内線 92319)/FAX 04-7134-6879